

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/08/01 ～2018/09/01)

1. 勉学の状況

私がタイに渡航してから、もう1ヶ月が過ぎました。毎日とても充実した日々を送ることができ、時間が過ぎるのが早く感じます。

私が現在留学しているのは、バンコクにあるカセサート大学という歴史ある国立大学です。タイで最初の農業大学として創設され、キャンパスは全部で4つ、学生数は約68,000人とタイで最も規模の大きい大学の1つでもあります。私が現在、勉強しているのはバンコクの中心部にあるバンケンキャンパスで、学校終わりや週末に買い物や観光ができるのがいいところです。また大学内にはフードコートがいくつもあり、料理の種類も豊富で全く飽きません。しかも1食約120円なので、授業がない日も通ってしまいます。

私が所属するのは、農学部熱帯農学科インターナショナルコースでタイ人、日本人、インドネシア人、オランダ人など様々な国籍を持つ学生と一緒に授業を受けます。留学生は、学科の1年生から4年生が受ける授業の中から取りたい授業を取ることができ、私は最初の2週間、色々な授業に参加してみて、熱帯農学基礎、農業普及学、園芸生理学、タイ語の4つの授業を取ることにしました。1つの授業は3時間から4時間なので、日本の授業と比べるとかなり長く感じます。私は、千葉大学では国際教養学部にも所属し、他の留学生とは異なり、農学の知識がほとんどないので4つだけでも授業についていくのが大変です。しかし、もともと学びたいと思っていた分野を深く学ぶことができているので、とても楽しいです。

2. 生活の状況

私が住んでいるのは、大学からスクールバスで10分くらいの留学生寮で日本と韓国のハーフの子と二人で1つの部屋をシェアしており、ほとんどの時間をそのルームメイトと一緒に過ごしています。他の留学生もほとんど同じ寮に住んでいるので、夕飯を一緒に食べたり、1回の共有スペースでみんなとおしゃべりするのが日課になっています。週末はマーケットに行ったり、電車で少し遠くに出かけたり、観光することが多いです。交通は日本ほど整っていませんが、バスや電車で安く色々なところに行くことができるのも魅力的です。気候も食べ物も人も今のところ全て気に入っており、タイ語をあまり話すことができないのは残念ですが、本当に住みやすいところだと思います。また、タイ人はとてもフレンドリーな人が多いので、最初はタイ人の友達があまりいませんでしたが、仲良くなったタイ人の友達が色々な人を紹介してくれ、さらにその友達の紹介などで、友達がたくさんできそうです。5か月しかないなので、できる限り色々なことにチャレンジしたいと思っています。

また、学校学習とは異なりますが、午前中のみしか授業がない日が多いので、平日の午後に自

分で探して見つけた団体でボランティアに先週から参加させていただくことにしました。その団体は、日本の財団で貧しい子供たちに本を届ける活動を主にしている団体で、日本人のスタッフ数名とタイ人のスタッフで運営しています。バンコクは発展がかなり進みつつある一方で、まだ十分に教育を受けることができない子供たちも多く存在しています。カセサート大学で学ぶことも留学生活で大切なことですが、普段生活しているだけでは見えてこないそのような面を自分の目で確かめたいと思い、ボランティアとして関わらせていただくことにしました。まだ、わからないことが多いので、これから活動していく中で、自分のできることをしっかり見つけていきたいと思っています。



クラブ紹介の様子

タイ人の学生をバディとして紹介してもらえる仕組みがあり、私のバディの所属する Acoustic club が新入生のために演奏しているところです。

とても優しいバディで、困ったときやわからないことがあったらいつも助けてくれます。

学食の紹介

農学部の近くにある学食で最近お気に入りのクカピという名前の料理です。

エビのエキスが入ったご飯と、お肉と野菜が盛り合わせてあり、スープまでついて約 90 円！



Huanmun マーケット

寮からいける距離にマーケットがたくさんあり、学校が終わってからたまに行きます。服や雑貨などなんでも安く買うことができますのでおすすめです。

クラブ紹介の様子

タイ人の新入生向けに様々なクラブがイベントを行っていました。私は留学生ですが、タイ人の友達に連れてってもらいこっそり参加させてもらいましたが、タイ語でゲームをするのには少し苦戦しました。

また、タイの大学は制服があり、シャツに女子は黒いスカート、男子は黒いパンツを履きます。写真はその制服を着ているときです。



週末の様子

マーケット、動物園、お寺、博物館など色々なところにタイ人の友達に連れてってくれることが多いので、とてもありがたいです。英語はほとんど通じないので、一緒にいてくれるだけで心強いです。

農学部の学生が中心になって行ったイベントの様子

手作りの料理や研究の成果を披露する場で、普段見ない料理を味わえて面白かったです。写真は、生徒が作ったコオロギのから揚げです。私は、虫が苦手なので食べませんでした。





アユタヤ旅行の様子

先週末にタイ人の友達がアユタヤに連れてってくれました。バンコクを出たのは、初めてだったのでとても新鮮で楽しかったです。アユタヤはかつてタイの首都で、戦争の跡地が今でも残っており、歴史を学ぶこともでき、よかったです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/01 ～2018/10/01)

1. 勉学の状況

カセサート大学で授業を受け始めてから2ヶ月が経ちました。大学での授業は、5ヶ月間で1つの科目を勉強するため、9月末から10月の始めにかけて中間テストとして大きな試験がありました。千葉大学ではレポートの課題が多かったため、試験の勉強方法を忘れてしまっており、勉強の仕方を思い出すところから始まりました。私は農学部の授業、3つの科目の試験があり、覚えることが多く2週間前から勉強を始めましたが、大変でした。テストの結果はクラス全員に公開させてしまうため、必死でしたが、基礎知識がないことと勉強時間が足りていなかったせいで、結果はまだ帰ってきていませんが、おそらくあまりいいスコアを取れていないと思います。12月に期末試験があるので、そちらではもっと良いスコアが取れるように頑張ります。

また、1つの授業を複数の先生が教える場合、先生によって試験をするか課題を出すか異なります。Physiology of Horticulture という科目のある先生は、毎週レポート5枚の課題を出すため、試験よりもそちらの課題の方が大変で、毎週末泣きそうになりながらやっています。最近、友達も増えてきて、遊びと勉強のバランスをとることの必要性を感じています。

2. 生活の状況

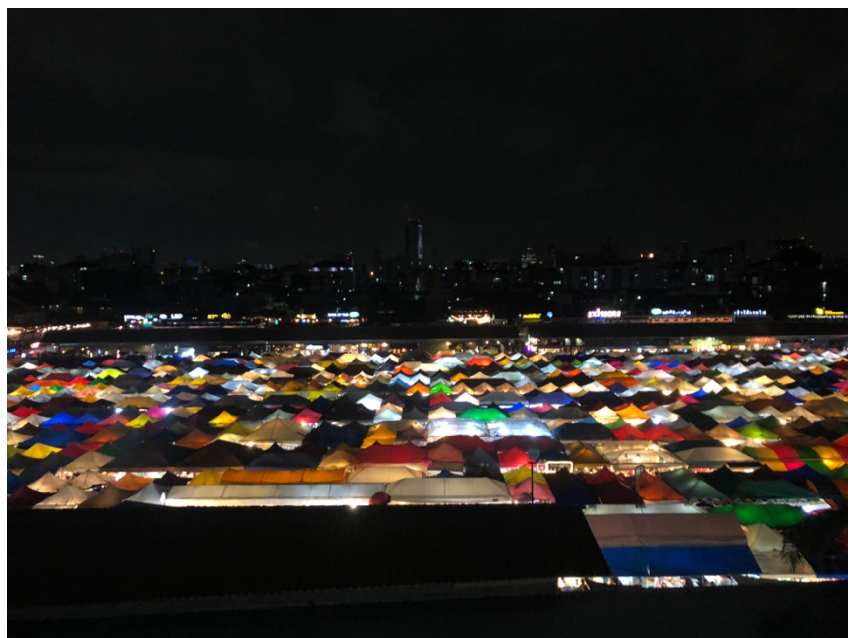
生活にも慣れてきましたが、タイ語は相変わらずほとんどわかりません。友人同士の会話はほとんどタイ語なので、タイ語を理解したいという気持ちが強まり、少しずつ勉強しています。文法は簡単なのですが、発音と文字が特に難しく、まだまだ時間は必要そうです。

バンコクの大きな問題の一つに渋滞があります。週末や雨が多く降ったりすると特にひどく、いつもなら30分で行けるところに2時間かかったりします。ボランティア先から帰る途中、雨がひどく降った日がありました。その時ひどい渋滞に巻き込まれてしまい、最寄りの駅からバスに乗った方がいいものの30分以上全くバスが動かず、帰れる見込みがなかったため、途中でバスを降りて、近くのショッピングモールで時間を潰すことにしました。夕飯を食べて1時間くらい経って、道路を見に行きましたが、状況が全く変わっていませんでしたので、渋滞の軽いところまで歩くことにしましたが、どこまで行っても車がほとんど動いておらず、結局1時間半ほど歩いて寮まで帰りました。もっと近くに電車の駅ができる予定なのですが、おそらくあと2年はかかるようなので、残念です。

また、今月はタイに来て初めてお腹を壊しました。ラチャダーマーケットという綺麗なマーケットに行った時、海鮮をトランジットでバンコクに来ていた日本の友人と食べたのですが、帰って次の日くらいにとってもお腹が痛くなり、一緒に行った友人もお腹を壊してしまって、とても後悔しました。バンコクに来て、屋台やマーケットでご飯を食べても平気だったので、油断してま

した。連れて行った友人にも申し訳なさいっぱいです。

さらに、今月はずっと私が行きたかったワットアルンにインドネシア人の友達と行き、ワットポーにタイ人の友人と行きました。タイの観光地は、大抵タイ人は無料でも、外国人は入るだけにとっても高い入場料を払わなければなりません。カセサート大学の学生証を見せると無料になることがあります。ワットアルン、ワットポーもそのような場所の一つで、無料で入ることができたのでよかったです。タイのお寺は日本とは全く異なり、カラフルで細かい細工がしてあるお寺が多いように感じます。他にも行きたいワットがバンコク内にも多くあるので、残りの時間を利用して全て行きたいと思います。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/01 ～2018/11/01)

1. 勉学の状況

先月は中間テストがあり、その結果が少しずつ返って来ました。全くできていなかったと思っていましたが、結果は思ったよりも良く安心しました。あと1ヶ月したら、期末テストが始まってしまうため、もうすぐその準備をしなければならないので、遊んでばかりはられないと思いました。行ってみたかった国で、学びたかった分野で勉強でき、毎日色々な経験をさせてもらっていることを本当にありがたいと思う一方で、時間の流れの速さに心が追いつけていないような気がします。半年間という期間を選んだのは間違っていなかったと思いますが、残り2ヶ月間で、留学前に自分で立てた目標を振り返りつつ、1分1秒を大切する必要があると感じます。

私は農学部知識が他の人より少ないので、授業で学んだことに関連したことを少し調べるようにしています。例えば、最近では農業普及学の授業で“Sufficiency Economy Theory”について学び、日本ではどのような見方をされているのかについて気になったので調べてみました。“Sufficiency Economy Theory”とはタイの前国王がたてた政策の一つで持続可能な農業開発を行うことを目標にしているもので、現在も進められています。日本とタイでは農業の仕組みや方法が異なるので、一概には言えませんが昔の日本に同じような政策があれば、もう少し農業の衰退を避けられたのではないかと個人的に感じました。

授業だけでなく、友人と話をしている時も自分の知識が足りないと思うことがあります。日本で勉強している時には、あまり感じませんでした。ここで生活していると他の国の話だったり、宗教の話だったりをする機会が増えて、知っておくべきことが意外とあることに気づかされます。今まであまり興味のなかった政治や歴史についてももっと勉強しようと思ったきっかけにもなったので良かったです。

2. 生活の状況

今月は大学の卒業式があったため、カセサート大学はその準備と式などのために授業が2週間休みでした。卒業生の友人がいたので、少し参加させていただきましたが、日本とは規模が大きく異なり、リハーサルだけでも多くの友人が卒業生と写真を撮るために来ていました。半年の間に長期休みがあると思っていなかったため、旅行に行ったりでき非常に良かったです。

10月が終わりを迎えるにつれて、雨が降る回数も減りなんとなく涼しくなったかなと感じてきました。9月、10月はとても雨が多く、1ヶ月の半分くらい雨が降っていたような気がします。雨は予測できないし、降ってしまうと道路がとても混んでしまうので、遊びに行っても雨で予定が崩れてしまうことがよくありましたが、最近はそのようなことが減ってきたので嬉しいです。タイ人の友人は涼しくなったと喜んでいますが、日本と比べて気候にあまり変化がないので、日

本の四季の変化が少し恋しくなります。ただ熱帯ならではの気候を感じられるのは面白いことなので、この気候をしばらく楽しみたいと思います。

以前スラムでのボランティア活動について少し書かせていただきましたが、今月はイベントを企画したり、参加したりしたので紹介させていただきたいと思います。毎週行くごとに子どもたちが私のことを覚えてくれるようになってきたので、とても嬉しいです。

私は、千葉大の Fabric という団体に Table For Two の理念に基づいて活動しており、その一環におにぎりアクションという活動があります。おにぎりを作って、写真を撮って SNS に投稿すると、5 食分の給食が途上国に寄付されるという取り組みで、私はボランティア先で出会った友人とおにぎりを子供達と一緒に作ることにしました。しかし、当日風邪を引いてしまい参加できず、本当に残念でした。企画自体は成功したみたいなので、良かったです。

そのリベンジではないですが、10 月末にハロウィンにちなんだイベントを企画して、やらせていただきました。折り紙でジャックオランタンを作ったり、お菓子探しゲームをしたりする簡単なものでしたが、子どもたちがとっても楽しそうにしていたので良かったです。ただ、子どもたちはタイ語しか話せないの、コミュニケーションを取るのに少し苦労をして、やはりタイ語を少しでも話せるようになりたいと思いました。

また、その団体は奨学金事業も行っており、今月は奨学金の授与式に参加させていただきました。支援してくださっている Nikon タイランドの社長さんや大使館の方などがみえ、お話を聞くことができ貴重な機会でした。今週はミャンマーの国境付近に行く移動図書館に同伴させていただく予定で、色々な経験をさせていただいておりありがたいです。

残り短い期間ですが、この留学を充実したものにできるように毎日を大切にしていきたいです。



チャットチャックマーケットに行きました。住んでるところから近いのでよく行きますが、こんなスポットがあることを初めて知りました。とっても広いので全く飽きません。

友人の卒業式のリハーサルと一緒に写真を撮ってもらいました。みんなとっても綺麗でした。





ラマ9世公園

80万平方メートルもあるとても広い公園で、色々な植物を見ることができます。とても行く価値があると思います。

ボランティア先のシーカー・アジア財団が今年立ち上げたアクセサリーブランドFEE MUEの広報用の写真撮影の手伝いをしました。タイの民族の柄などをモチーフに、一つ一つ手作業で作っていて、私も買いたいと思う可愛いデザインばかりです。



大学の写真部のトリップに参加させていただきました。カメラは初心者なので、学ぶことがたくさんあり楽しかったです。写真は、モデルとして撮ってもらったものです。

写真部のハロウィーンパーティにも参加しました。ゾンビ風?のメイクをしてもらって写真を撮たくさん撮りました。日本と仮装のスタイルが異なるところが面白かったです。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/1～2018/11/1)

1. 勉学の状況

11月に入り、カセサート大学でのプログラムも残り1ヶ月を切りました。期末テストが少しずつ始まり、8月から受けてきた授業の終わりを喜ぶとともに、この留学生活の終わりを実感し、非常に悲しさがこみ上げてきます。1セメスターは長いようですが、今になるとかなり短かったように感じます。

私は、現在4つの授業を取っていますが、期末では、テスト4つ、オーラル試験1つ(タイ語)、プレゼンテーション1つ、レポート4つを抱えています。1つの授業の中にも複数の先生がおり、先生によって期末として出すタスクが様々なので、少し大変です。特に Physiology of Horticulture という授業では、毎週5枚のレポートがずっとありましたが、期末ではそれが10枚以上になり、かなり時間がかかりました。しかし英語で論文を選び、読み、まとめる力がかなりついたと思うので、頑張った甲斐があったかなと思います。

Paradigm of Agricultural Extention という授業では、農家の方にインタビューをしてプレゼンテーションを作るというグループワークがありました。私たちのグループでは、タイで日本の品種を育てるメロン農家の方にお話を聞きに伺いました。私は、日本の品種を育てるきっかけやスマート農業についての質問をしましたが、農家の方がタイ語しか話せず、まだタイ人の友人が翻訳の途中なので、質問の答えとして何とおっしゃったのかまだわかっていません。しかしタイの農家を訪れることは初めてで、グリーンハウスとココナッツの皮による水耕農業を行なっている様子を見るだけで私にとって、新鮮でした。タイの農業は、私の想像よりも発展しており、日本の農業も学ぶ部分が多いのかなと思いました。質問の答えを聞くのがとても楽しみです。

また今月は AIMS(ASEAN International Mobility for Student Program) Trip がありました。AIMS とは「SEAMEO 加盟国を枠組みとする、ASEAN 統合に向けた政府主導の学部生向け学生交流プログラム」で、このプログラムを通してタイや日本をはじめとする国の学生が派遣留学をしています。カセサート大学に交換留学に来ている日本人とインドネシア人のほとんどは AIMS Students と呼ばれています。私は、学部間留学ではなく、MOU という別のプログラムで来ていますが、AIMS Trip に特別に参加させていただきました。AIMS Trip では農学部、水産学部、森林学部、経済学部、獣医学部、農産学部(アグロインダストリー)の6学部の研究フィールドを回ったり、その学部の紹介を聞いたりしました。全部で6日間あり、最



後の3日間は泊まりで農学部と森林学部の研究フィールドに行ってきた。カセサート大学はタイ国内に多数の研究施設を持っていて、そこでどのような研究をしているのか聞くのは非常に面白かったです。他の留学生とも仲良くなれる大きなきっかけになったので感謝しています。

2. 生活の状況

今月は、私のボランティアしている団体の移動図書館に参加させていただきました。マハチャイというバンコクから車で1時間半ほどの場所にある小学校2箇所に訪問しました。劇をやったり、紙芝居をやったりし、その後子どもたちが本を読むのに好きなだけ時間をとります。子ども達みんな本を読むのが好きで、本を読む時間になると一斉に移動図書館に駆け込んで、本を選びます。



1冊をものすごい速さで読み終わると、また走って次の本を選ぶ様子はとっても可愛らしくて、この活動の意味があることを非常に感じました。子ども達が私のところに寄って来て、「これ読んで!」と言ってくれるのはとても嬉しかったのですが、一方でタイ語を読むことができないので、少し悔しい思いをしました。いつか、タイ語をもっと習得して子ども達とうまくコミュニケーションを取れば

いいなと思い、タイ語を勉強する意欲がより湧きました。また、このような活動に参加させていただければ嬉しいです。

また、今月は友人の紹介で Community Development を目的とした、森林学部と社会科学部が共同で行うプロジェクトに参加させていただきました。Koh Klang というコミュニティを外国人を含め多くに人にもっと知ってもらい、その向上につなげることを目的としたイベントで、今回が1回目の開催らしいです。私はそのイベントで、Tie Dye(絞り染め)やビニール袋から花束を作ったりしました。その地域に住んでる方が実際にやり方を教えてくださり、お昼ご飯まで振舞っていただき、とっても充実した1日を過ごすことができました。





そして、11月末にはチェンマイに旅行に行きました。コムローイ祭りというランタンを空に飛ばして神様に感謝するお祭りに参加することが目的で、3日間という短い間でしたが十分に楽しめました。チェンマイは同じタイでも違う国に来たように雰囲気はバンコクと異なり、空気が綺麗で町並みもとても気に入りました。しかし、バンコクではタクシーが安くて移動によく利用しますが、チェンマイにはタクシーがなく、ソンテウという赤い車を捕まえてドライバーさんと値段を交渉したりしないといけなかったのが少し大変でした。

また、ロイクラトン祭りというのも同じ時期にタイ国内で行われていてチェンマイに行く前に大学内で行われていたお祭りに参加しました。クラトンというバナナの葉っぱや花でできた小さなもので、川などに流して水の神様に感謝し、自らの穢れを流す意味があるそうです。大学内に多くの屋台が並び、ステージも設営され、大学祭のような雰囲気で、楽しかったです。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/01 ～2019/01/01)

1. 勉学の状況

期末試験やプレゼンテーションなどを終え、今月で半年間のプログラムが終了となりました。中間テストでの反省を生かし、期末試験はより効率よく勉強できたと思います。テストの結果はまだきていませんが、中間テストよりよくなっていることを願います。中間テストよりも分量が多く、記述試験が主だったので少し大変でした。

私がカセサート大学に留学した目的は、農業と英語を学ぶこと、格差や貧困問題などについて知るでした。100パーセントそれが達成できたかと言われたら、そうとは言えない部分もありますが、留学前の自分と比べて考え方や自分の目標とすることが変わった気がします。農業、特にタイの農業について学び、やはり自分は農学について興味があることを再発見できたと同時に、日本とは異なる熱帯農業やタイの農業の仕組みなどについて知れたことは大きかったです。しかし、英語力を向上させるという点についてはあまり変わった自信がありません。授業は英語で行いますが、日常的に聞こえてくる言葉はタイ語やインドネシア語、日本語なので、英語圏に留学するのとは違うと思いました。しかし、私はそれよりも出会いに恵まれて、日本人を含め色々な人の意見や考え方を知り、自分に足りないところや自分が本当に興味があることがわかってきました。12月になり、終わりが近づくと同時にそのことにさらに実感し、やはりこのプログラムに参加してよかったなと感じます。高校生の時にも長期の海外留学に参加した経験がありますが、その時とは同じ留学でも全く違うものになったと感じます。高校での留学も大学での留学もそれぞれ良いところはありますが、大学での留学は自由度が本当に高いと思いました。自分が取りたい農学部での授業をとったり、大学外でボランティア活動に参加したり、WFPやFAO、大使館の方などに話を聞きに行ったり、インターンを探したり、いろんな場所に観光しに行ったり。やろうと思えば、できることはたくさんあります。留学の目的は人それぞれなので一概には言えませんが、ただ勉強だけに縛られるのではなく、いろんな経験をする方が私は価値があると感じました。それが大学での留学の良いところの一つだと思います。

1月中旬からフィリピンでのインターンシップに参加しますが、それもスラムのボランティア先で出会った大学生に紹介していただいた方のつながりで、その団体でインターンできることになり、前にも述べたように人との出会いに恵まれた半年間だと感じました。人とのつながりは本当に大切に、だからこそ出会った人とのつながりをこの先も続けていくことが重要で、私もその人たちにこの先も付き合いたいと思ってもらえるように頑張らなければならないと思いました。

2. 生活の状況

授業によっては、12月の頭に終わってしまったものもあったので、12月は割と授業数が少な

く、最後に色々なところに行けました。私は、年末年始をタイで過ごすしてみたかったため、少し残りましたが、授業が終わると同時に一緒に勉強した友人たちが次々に母国に帰ってしまったので、とても寂しかったです。5ヶ月間という短い期間でしたが、色々な人と出会い、様々な経験をし、とても濃い5ヶ月間でした。

今月の始めには、農学部の交換留学生のプログラム修了式がありました。一人ずつ名前が呼ばれて、終了証書をいただきました。同じプログラムを一緒に過ごした人たちに感謝の気持ちを伝えたくかったため、前に立って少し挨拶する時間をいただきました。留学前だったら躊躇して上手く話せなかったかも知れませんが、留学を終え自分の英語力にも自信がつき、顔なじみになったみんなの前なら言えると思います。簡単でしたがこのプログラムに参加してどう感じたか、どれほど貴重な機会だったかを含めて感謝の気持ちを述べました。自分の英語力はまだまだ十分ではありませんが、以前よりも周りの人に気兼ねなく話せるようになったと思います。

12月末から1月の始めにかけては、タイ人の友人が計画してくれチェンマイへ旅行に行きました。11月にも一度旅行で行ったので、今回は2回目でしたが、タイで一番高い山に行ったり、キャンプをしたり、カフェを巡ったり、前回とは全く異なるプランだったので、十分楽しむことができました。私以外タイ人だったので会話が全然わからなかったりしましたが、泊まる場所の予約からバイクの運転など何から何までやってもらい、写真もたくさん撮ってくれ、とても充実した旅行になりました。

この旅行で感じたのは、タイ人は日本人よりおもてなしの心が強いのかもしれないと思いました。タイ人の優しさはこの留学中なんでも感じて来ましたが、タイ人の友人になぜそんなに良くしてくれるのか聞いたところ、あなたは外国人で助けたりもてなしたりするのは当然のことですよ、と言われました。確かにそうですが、日本人はシャイでいろんなことを気にしていて、タイ人ほど外国人に優しくできていないと思います。私は、何事もマイペンライ（気にするな）で片付けてしまうそんなタイ人の性格が本当に素晴らしいと思いました。

